

授 業 科 目 名	必修・ 選択別	単位数	対象 学年	学 期	曜・限	担 当 教 員
ライフサイクル医学 コース（小児科）	必修	講義 3	3	2	月～金	井原健二、末延聡一、前田 知己（小児科）他
【科目名の英文】 Life Cycle（Pediatrics）						
【授業の概要】 胎児・新生児・乳幼児・小児期から思春期にかけての生理的成長・発達とその異常の特徴および精神・社会的な問題を理解する。						
【具体的な到達目標】 ≪成長と発達≫ ①小児の精神運動発達および心身相関を説明できる。 ②思春期発現の機序と性徴を説明できる。 ③小児の栄養上の問題点を列挙できる。 ④胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。 ⑤新生児・乳幼児の生理的特徴を説明できる。 ⑥小児保健における予防接種の意義と内容を説明できる。 ≪検査・治療・診察手技≫ ①小児に対する診断法と治療法の特徴を概説できる。 ②新生児マスキングを説明できる。 ③小児の検査値の特徴を説明できる。 ④乳幼児と小児の薬剤投与の注意点（薬物動態の特徴を含む）、輸液療法を説明できる。 ⑤新生児・小児の一次救命処置を理解し実践できる。 ⑥遺伝カウンセリングに必要な情報収集ができる。 ⑦乳幼児健診の意義を説明できる。 ≪疾患≫ ①新生児仮死、黄疸、呼吸障害など新生児 低出生体重児固有の疾患を概説できる。 ②急性白血病、貧血、血小板減少、血友病の病因、病態、症候、鑑別診断、治療と予後を説明できる。 ③神経芽腫を概説し、小児腹部固形腫瘍（腎芽腫、胚芽腫、奇形腫）との鑑別点を説明できる。 ④染色体異常症の概説ができる。 ⑤ネフローゼ症候群、急性糸球体腎炎、慢性腎炎、IgA 血管炎を概説できる。 ⑥先天性腎尿路奇形を概説できる。 ⑦気管支喘息、食物アレルギーの診断と治療を概説できる。 ⑧川崎病（急性熱性皮膚粘膜リンパ節症候群）の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。 ⑨若年性特発性関節炎の病態、症候、診断と治療を説明できる。 ⑩先天性免疫不全症の病態、診断と治療を概説できる。 ⑪消化器疾患（肥厚性幽門狭窄症、Hirschsprung 病）、腸重積症を概説できる。 ⑫便秘症、乳児下痢症、脱水症を説明できる。 ⑬低身長をきたす疾患を列挙しその病態生理を説明できる。 ⑭先天代謝異常症を概説できる。 ⑮小児期の糖尿病の病態、症候、診断と治療を説明できる。 ⑯麻疹、風疹、水痘・帯状疱疹、流行性耳下腺炎の症候と診断と合併症および予防法を説明できる。 ⑰単純ヘルペスウイルス感染症、伝染性紅斑、手足口病、突発性発疹、咽頭結膜熱、伝染性単核（球）症を説明できる。 ⑱乳幼児突然死症候群を概説できる。 ⑲児童虐待を概説できる。						

【授業の内容】				
回数	授業項目	授業内容	担当講座・教員	方法
1	小児の成長、栄養	小児の成長、栄養	小児・井原	講義
2	プライマリケア	臨床推論	小児・前田美	講義
3	こどもの救急	虐待、小児救急、災害	小児・井原	講義
4	新生児学総論	新生児蘇生	小児・前田知	講義
5	新生児学総論	新生児学総論	小児・前田知	講義
6	新生児学各論	新生児学 各論	小児・井上	講義
7	内分泌疾患	内分泌疾患、糖尿病	小児・糸永	講義
8	アレルギー疾患	アレルギー疾患	豊後大野・玉井	講義
9	膠原病	膠原病	小児・池内	講義
10	血液造血器疾患	白血病、貧血、血液疾患、脈管発生異常	小児・末延	講義
11	腫瘍性疾患	固形腫瘍	小児・平野	講義
12	腎疾患	小児腎疾患	小児・清田	講義
13	呼吸器疾患	気管支喘息、呼吸器感染症	小児・小栗	講義
14	感染症	ウイルス感染症	小児・佐藤	講義
15	感染症	細菌感染症	小児・井上	講義
16	消化器	肝疾患、消化器疾患	産業医大・保科	講義
17	免疫不全	免疫不全	産業医大・保科	講義
18	先天代謝異常症	先天代謝異常症	小児・井原	講義
19	水・電解質	栄養、脱水症	小児・山本	講義
20	小児保健	予防接種、事故	小児・末延	講義
21	先天異常・臨床遺伝	染色体異常、遺伝カウンセリング	小児・井原	講義
22	川崎病・不整脈・起立性調節障害	川崎病・不整脈・起立性調節障害	小児・岸本	講義
23	グループ別アクティブラーニング	テーマ：1カ月児で注意する疾患について	小児	AL
24	グループ別アクティブラーニング	テーマ：遺伝性腫瘍について	小児	AL
25	グループ別アクティブラーニング	テーマ：2歳までのコミュニケーション指標について	小児	AL
26	グループ別アクティブラーニング	テーマ：虐待	小児	AL
27	グループ別アクティブラーニング	テーマ：造血幹細胞について	小児	AL
28	グループ別アクティブラーニング	テーマ：小児血液腫瘍性疾患について	小児	AL
29	グループ別アクティブラーニング	テーマ：1型糖尿病について	小児	AL
30	グループ別アクティブラーニング	テーマ：乳児の咳嗽について	小児	AL
31	グループ別アクティブラーニング	テーマ：子どもの医療について	小児	AL
32	グループ別アクティブラーニング	テーマ：子どもの成長障害について	小児	AL
33	グループ別アクティブラーニング	テーマ：川崎病について	小児	AL
34	グループ別アクティブラーニング	テーマ：腎疾患について	小児	AL
35	新生児蘇生	新生児蘇生実習	小児	実習
【アクティブラーニングの内容】		【その他の工夫】		
症例を基にしたテーマを設定し、全班に能動学習成果を発表させ、教員が解説する。 新生児蘇生の基本的手技の実習を行う。		講義は総論的事項を中心とする。各論は能動学習の発表会で学習する。		
【時間外学修の内容と時間の目安】				
グループワーク、発表会準備のために10時間確保している。				
【教科書】				
書名：病気がみえる 小児科、監修：少林寺宏道ほか、出版社：医療情報科学研究所、発行年：2022年10月				
書名：標準小児科学第8版、監修：内山 聖、編集代表：原 寿郎、出版社：医学書院、発行年：2013年12月				

【参考書】 Nelson textbook of pediatrics, 20 th ed. Up To Date https://www.uptodate.com/contents/search		
【成績評価方法及び評価の割合】 講義と発表会は、2/3 以上出席していなければ、受験することができない。 コース最後の筆記試験では系統講義と学習発表会の理解度を確認する（100 点満点）。		
【注意事項】		
【備 考】 最終時間割はコース前に配布する。 講義や能動的学習に Moodle を用いる。 出欠の確認等に Moodle を利用する。		
教員の実務経験の有無	○	医師
教員以外で指導に関わる実務経験の有無	×	
実務経験をいかした教育内容	小児期・周産期の様々な疾患の病態や、その診断法、治療法の講義を行う。	
授業形式	対面授業	